

主催事業紹介

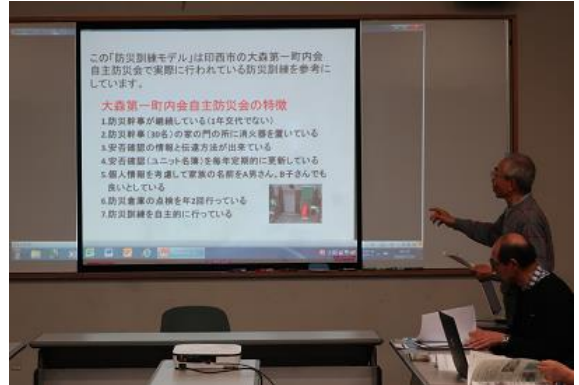
「小林減災講座」

実施日：3月10日（土） 晴

参加者：計9名

東日本大震災の発生した3月11日を翌日に控え、災害による被害を最小限に減らすためにどうしたらよいかを改めて考えることを目的に、小林減災講座を開催しました。

講師は、平成27年4月に印西市民アカデミー第16期生で結成し、防災に関する研究を続けている「印西防災研究会」です。今日は印西防災研究会の作成した「わかりやすい



自主防災組織マニュアル」などをテキストに自主防災組織運営を中心に講義していただきました。

東日本大震災発生時にビルの17階にいて長いゆれを体験したという講師のによる中高層マンションでの自主防災組織活動マニュアル、5～7世帯を一つの



ユニットとして機能的に安否確認を行っている大森第一町内会の防災訓練の紹介、備蓄の重要性（富士山が噴火すると日本のトイレットペーパーの約4割を生産している静岡県に甚大な被害が出るため、トイレットペーパーが不足する恐れがあるそうです。）、指定避難所の運営マニュアルをあらかじめ決めておくことの重要性など、さまざまな角度から減災のための話があり、とても勉強になりました。



参加者も交えて「災害時には小・中学生の力を生かされるとよい」、「備蓄品は何が入っているか使用期限はいつかが一目でわかるように備蓄しておく」とよい、「HUGという避難所運営ゲームを使った訓練も効果的」など活発な意見交換がなされ、貴重な学習ができました。

